表 シカゴ連銀経済報告(2019年11月27日公表)

項目	動向	関係者報告・背景
雇用と賃金	雇用はわずかに(slightly)拡大 賃金はわずかに上昇	企業からは、今後1年間の雇用のペースはやや加速するとの声が聞かれた。引き続き人材市場は厳しく、全てのスキルレベルで人材が不足しているため、複数の企業からは退職者を再雇用しているとの声があった。製造業では需要が思わしくないが、従業員を解雇すると需要が回復した際に再度雇用することが困難となる恐れがあるため、従業員の勤務時間を減らすことで対応している。賃金の上昇は専門職、技術職、管理職において多く報告された。
物価	小売価格は控えめに(modestly)上昇 生産者価格は変化なし	関係者は今後1年間の物価上昇はやや加速すると予想している。食品、家庭用品、アパレルでは小売価格の引き上げを控えているが、その他の小売業では追加関税(今後賦課が予想されるものを含む)の影響で引き続き価格上昇が続いている。
個人消費	わずかに増加	ゼネラルモーターズ(GM)でのストライキの影響によるGM車販売への影響は限定的だったが、部品の不足は引き続き生じており、販売店からは衝突事故の修理に必要な部品が特に不足しているとの声が寄せられた。小型乗用車の販売は、新車・中古とも控えめに上昇している。自動車業界以外の小売売上高はわずかに減少した。関係者は11月下旬の感謝祭を起点とする年末商戦期間の売上高は、前年よりも上昇すると予想している。
企業支出	わずかに減少	企業支出はわずかに減少した。小売店の在庫はやや過剰な状態だが、ある関係者からは今後見込まれる追加関税に備えて在庫を備蓄しているとの報告があった。GM車の在庫量はストライキの影響で通常より少なめであるものの、年末までには通常ベースに戻ると見込まれている。設備投資は前報告期間の上昇傾向から転じてやや減少したものの、関係者は今後1年間は控えめに拡大すると見込んでいる。
建設と不動産	変化なし	住宅建築は控えめに増加したものの、非住居建築はわずかに縮小した。商業不動産の動きは堅調な状態を保っている。特に、倉庫・物流関係の不動産が堅調。
製造業	わずかに上昇	鉄鋼の需要は前報告期間から転じてわずかに上昇した。ある関係者は自動車業界からの需要は低めであるものの、送電事業者の需要が高いと報告している。重機械の需要は建設および鉱業の需要増によりわずかに上昇した。自動車製造はGMストライキの影響で落ち込んだが、自動車業界全体で見ると需要は堅調なレベルを保っている。大型トラックの出荷数は伸びているが、新規受注は縮小傾向。特殊金属の受注には大きな動きはなかった。建材業者はわずかに売り上げが伸びた。
金融	控えめに改善	商業不動産分野の成長を反映してビジネスローンの需要はわずかに伸びたが、農業分野の需要は低い。
農業	厳しい状況だが、輸出量は増加傾向	例年より早い11月の降霜と降雪の影響により、春からの天候不順の影響で遅れていた穀物の収穫がさらに遅れ、収穫高も減少した。関係者はシカゴ周辺地区のトウモロコシおよび大豆の収穫高は前年比でかなり下落すると見込んでいる。さらに関係者は作物の品質悪化にも懸念を示している。春の大雨の影響で水分を含んだ作物を十分に乾燥させるため、米国中西部の農園では燃料への需要が高まり、一部の地域ではプロパンガスの供給不足を引き起こした。これにより、十分な量の作物の乾燥が行えなかったことが懸念されている。トウモロコシおよび大豆の価格は前報告期間より下落しているものの、1年前と比較すると上昇している。しかし、全体的な収穫高の減少が見込まれ、穀物収入は昨年より減少することが見込まれる。貿易交渉の進捗により将来的な輸出量の増加が期待されるため、農作物の輸出は全体的に好転している。農業収入は全体的に前年比で低下すると予測されているが、通商問題の影響を受け収入が減少した農家には、政府による支援金が支給される。

(出所)シカゴ連銀経済報告を基にジェトロ作成